

# さようなら平成<sup>♡</sup> 新たより発行<sup>♡</sup>

博物館から新しいたよりの発行です... 博物館ザッ記2019.4



今年も帰って来ました!  
(平成31年4月22日)

鞍掛山の仏坂峠付近で、初鳴きを  
確認しました。4月26日にはテレビの取材  
があり、元F1野球選手の山本昌さんが来館。  
現地では鳴き声も聞いて大感激でした。



風切山・里地・里山の新緑 (平成31年4月28日)

平成31年度最初の野外学習会です。36名が緑まぶしい風切  
山の植物を楽しみました。カスマグサは①ラスと②スメの間③なのですネ。

## 鳳来寺山のかくし水 (平成31年1月6日)

鳳来寺山中に年中水の溜れない  
隠し水があると聞き、探索に出かけました。  
古絵図にも描かれている特別な  
場所のようです。  
たどり着くと、そこは火山砕屑岩の  
とろろ部分がぬけ落ちてきた穴で、  
水は溜れ、内部には糞がたまって  
いました。曾犬の隠れ家になって  
いたようです。



## 冬の自然探検(平成31年2月7日)

乳岩山にある胎内くぐりを目指しました。  
石門付近から道なき道を下り、たどり  
着きました。友の会のみが楽しめる  
限定行事です。24名が厳寒の探検  
に参加しました。

## 学術委員総会・友の会総会 (平成31年4月21日)

友の会総会では、川瀬基弘学術  
委員の記念講演がありました。  
演題は「身近で不思議な貝類の魅力」  
です。軟体動物がかわいく見えて  
きました。



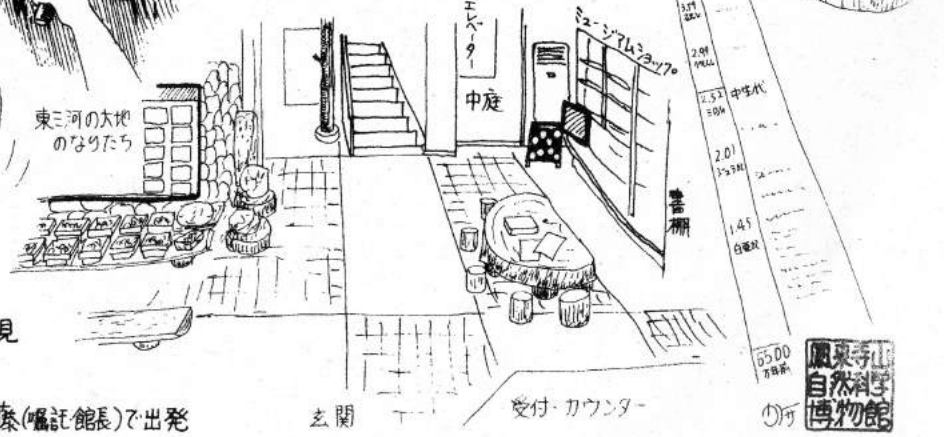
4月26日 ウスバシロチョウ初見

## 展示リニューアル (平成31年3月15日)

地学系を中心に展示を  
更新しました。東三河地方の  
大地のなりたち、中央構造線、設楽海、  
設楽火山、地球の歴史の中の新城市の  
大地の歴史がわかる赤の帯シールなどです。  
3階の分類展示コーナーでは、菌類、地衣類、  
コケ、シダ類のパネルを新しくしました。

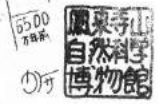


## ロビーのレイアウトを変えました (平成31年4月3日)



## 平成31年1月からの主なできごと

- 1月10日 ヤマドリ保護、11日放鳥
- 1月14日 静岡地学会西部支部ガイド(8名)
- 2月3日 東三河ジオパーク構想モニターツアー(24名)  
「農業王国を支える用水を探るツアー」
- 2月18日 鳳来寺小学校出前教室(12名)
- 2月24日 東三河ジオパーク構想シンポジウム、ミニツアー  
シンポジウムin田原(97名)、吉胡・笠山・蔵王山ツアー
- 3月20日 河合塾ガイドツアー(15名)
- 3月27日 至学館高校ガイドツアー(10名)
- 3月31日 ジオパーク構想準備会開催、市の花ヤマサクラ咲く  
加藤(館長)定年退職、矢田大氣くん退職
- 4月1日 新元号「令和」発表  
博物館新体制、日井参事(自然科学担当)、西村(学芸員)、福田(臨職)、遠山(新・臨職)、加藤(嘱託館長)で出発



# 令和のはじまりと博物館 2019年5月1日新元号

# 博物館ガッ記<sup>②</sup>2019.6

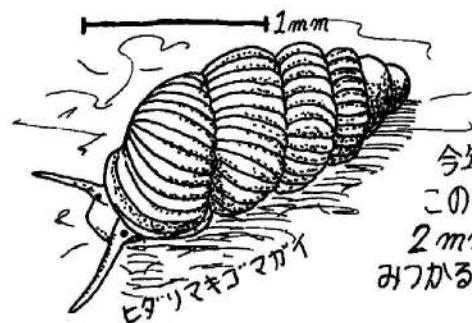
中学生職場体験がんばった!

東郷中学校2年 澤田くん(5/22~24)  
 新城中学校2年 林くん(5/29~30)  
 千郷中学校2年 加藤くん(6/13~14)



春のミュージアムフェスティバル  
 (令和元年5月3日~5日)

博物館協力隊といっしょに3日間にわた  
 り開催しました。天候に恵まれ、おおぜい  
 の方が来館し、楽しんでいられました。



学習会「モリアオガエルと表参道の生きもの」  
 (令和元年5月26日、はれ、36名参加)

今年は鳳来寺山の医王院横の池で5月14日が初産卵でした。  
 この日はカエルよりもカタツムリ(陸貝)が目玉でした。  
 2mmほどしかないゴマガイが  
 みつかりと歓声があがりました。

学習会「岩屋観音の地形観察と動物園」  
 (令和元年6月2日、曇り、20名参加)

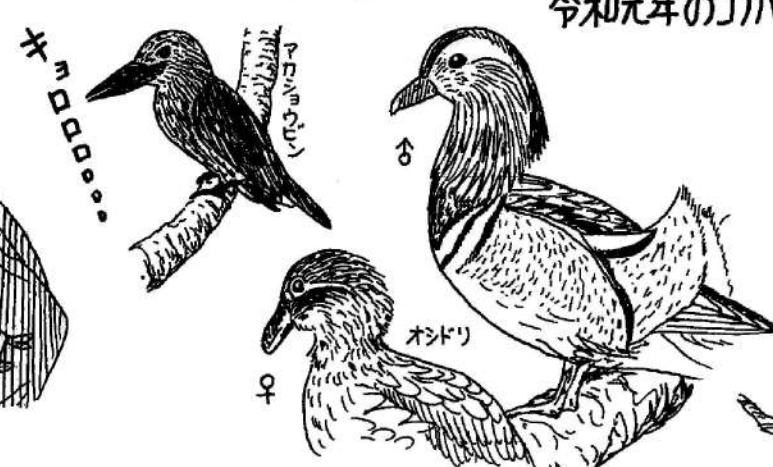
チャートでできた岩屋観音の頂に  
 立つと豊橋平野が一望できます。  
 ジュラ紀に海洋プレート上に堆積  
 して、はるばるやってきた、とても固い  
 岩石です。

動物園では、動物たちの  
 形態や生態を通して進化  
 を学びました。



仏法僧の声を聞く会 (令和元年5月18日)

恒例の友の会員限定行事です。参加の30名全員がコハズク(声の仏法僧)の  
 鳴き声を聞くことができました。第2部の他地域の調査では、川合の宇連ダム  
 奥まで足をのびしました。声は確認できませんでしたが、ヨタカに会うことができま  
 した。テント泊の早朝のバードウォッチングでは、アカショウビンの鳴き声、オシドリ  
 のペアをすぐ近くで観察できました。オシドリは実は毎年パートナーを替えるそうで、  
 オシドリ夫婦の使い方を気をつけなければ...と思ってしまいました。



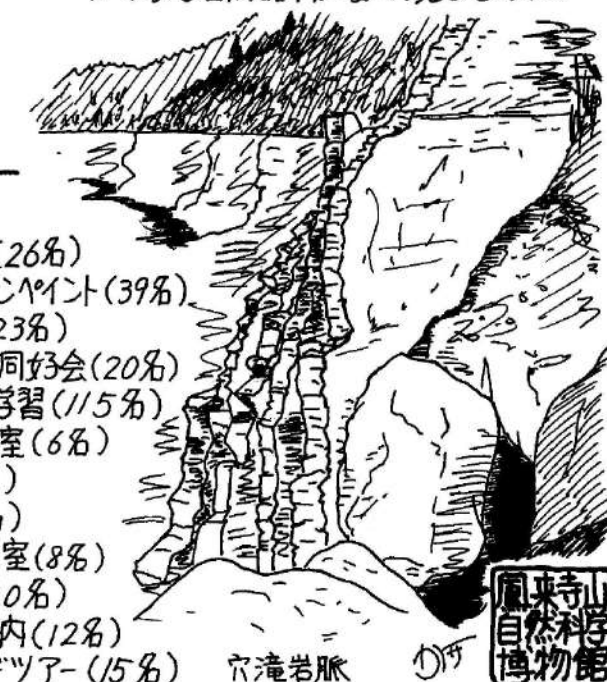
令和元年のコハズク鳴き声情報



博物館木の葉クラブ  
 黄柳野高校グレートアース  
 のメンバーと調査。

宇連ダムかっ水  
 (令和元年5月19日)

貯水率0%になりました。34年ぶり  
 とのことです。宇連ダム周辺に数多く  
 分布する岩脈群が姿を現しました。



ニホンカモシカ出没  
 (令和元年6月22日)

近ごろみんぱんに現れます。

見学、出前、ガイドツアー

- 5/15 昭和クラブ見学案内(26名)
- 5/15 八名中学校、見学とストーンポイント(39名)
- 5/16 奥三河再発見ツアー(23名)
- 5/18 名古屋大学化石鉱物同好会(20名)
- 5/22~24 千郷中学校総合学習(115名)
- 5/27 鳳来寺小学校出前教室(6名)
- 5/31 豊橋南高校(291名)
- 6/4 西春中学校(124名)
- 6/24 鳳来寺小学校出前教室(8名)
- 6/22 ちさとアレーナ(120名)
- 6/27 鳳来寺小学校見学案内(12名)
- 6/28 黄柳川小学校ガイドツアー(15名)

梅雨のさのこ観察会  
 (令和元年6月30日、雨)

雨の中、友の会員31名の参加  
 がありました。雨はさのこ  
 にとっては好条件では  
 したが、発生量はやや少  
 なめでした。

長篠の医王寺での  
 スしぶりの観察会。  
 チャツムタケ、ツルタケ  
 タマシ、ハナオチバタケなど  
 が見られました。(友の会行事)



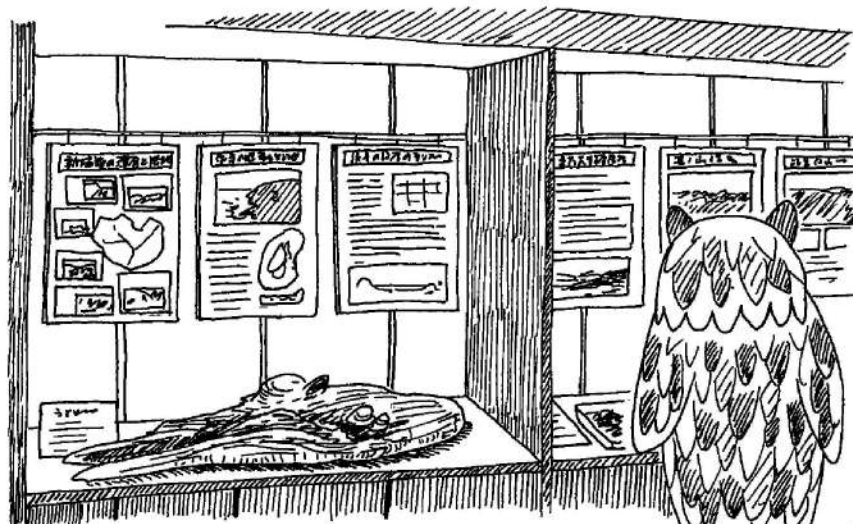




## ジオツアー「豊川のつくる地形と舟運」

(令和元年7月7日、はれ、20名参加) <ジオガイドデビュー>

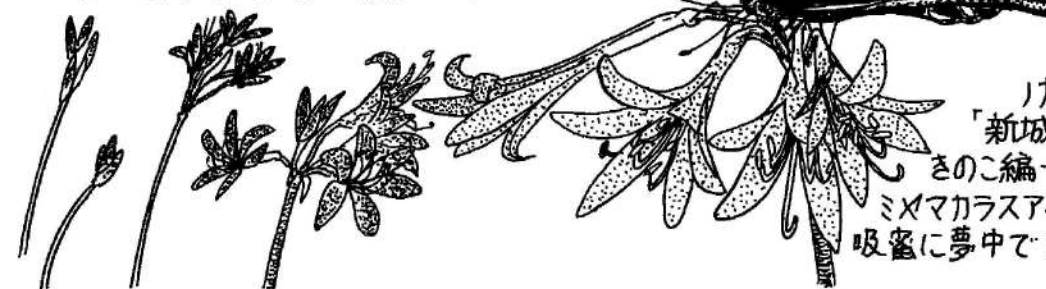
桜淵を出発し、牛川の渡しに至るツアーでした。中央構造線のほぼ真上を流れる豊川。その流域で見られる段丘地形、昔の舟運を観察し、今も唯一残る渡し舟と乗りました。旗頭山から一望できる流域の景観はみごとです。古代人がここに古墳を築いた気持ちがわかる気がしました。自分もここに暮らしたいと思える場所です。



## 展示館3階に湿原・湿地コーナー新設

(令和元年8月21日、分類展示室)

新城市には長ノ山湿原(県指定天然記念物)をはじめとする湿原・湿地が多くあります。かつて大野原と呼ばれていた広大な湿原には、厚く泥炭が堆積していました。パネルと共に泥炭と、そこに埋もれていた木の標本(大石巳朗氏提供)も展示しました。



## イワタバコ咲く(令和元年8月9日)

博物館の脇にある池のほとりで、紫色の花を咲かせました。一株から始まったイワタバコですが、今は崖をおおうほどに増えました。

## キツネノカミソリ群生地

(令和元年8月21日)

問い合わせがあり、初めて知りました。以前に北設楽でオキツネノカミソリの群生を見て感動した記憶があります。

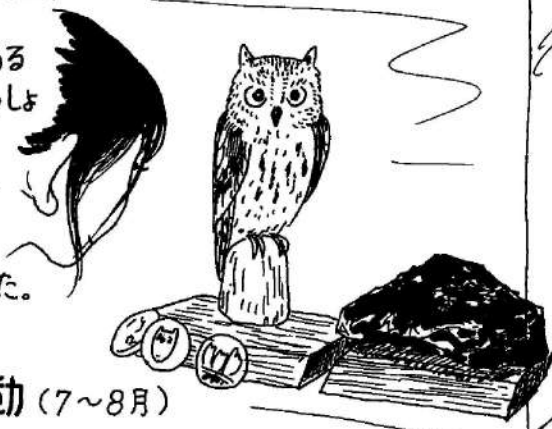
市内北西部にあるこの群生地はキツネノカミソリです。

「新城市の自然誌-植物-」の「その編」にも未記載です。ミヤマカラスアゲハが吸蜜に夢中でした。

## コハズク長期出張

(令和元年7月5日~8月31日)

新城市役所の一階にある情報カフェに松脂岩といっしょに出張展示しました。どちらも市の鳥・県の鳥、市の石・県の石です。愛知県を代表する鳥と石を本庁で見てもらうことができました。



## この夏の主な活動(7~8月)

- 7月5日 東陽小学校校外学習(18+2名)
- 6日 八名小学校「おもしろ実験教室」(ブース展示)
- 14日 日進自然観察会見学案内(41名)
- 16日 JA文化講座「東三河の大地の魅力とジオパーク構想」(33名)
- 21日 名古屋市教育スポーツ協会(42名)、同8月3日(42名)
- 25日 第24回三河部市議会議長会見学と講演「東三河ジオパーク構想」(43名)
- 28日 図書館まつり: ワークショップ「ストーンペイント」(13名)
- 30日 豊橋市自然史博物館企画展「ジオパークを知ろう」: ワークショップ、ブース展示
- 8月2日 東浦町ボーイスカウトカデ隊: ガイドツアー(28名)
- 5日 豊橋東高校GLOBE: ガイドツアー(15+2名)
- 5~7日 八名中学2年黒田くん職場体験
- 6日 走る環境教室見学案内、6~7日 鳳来中学2年西尾くん職場体験
- 8日 ちさと館「おもしろ実験教室」: ワークショップ、ブース展示
- 9日 豊橋市自然史博物館企画展「ジオパークを知ろう」: ワークショップ、ブース展示
- 12日 豊明市星城高校自然科学部: ガイドツアー(8+2名)
- 16日 新城市若者議会見学案内(8+2名)、つくし学園見学案内(8+3名)
- 20日 東三河教員初任者研修(76+6名)
- 24日 愛知県生物多様性セミナー見学案内(32+7名)、一般: ガイドツアー(6名)
- 25日 浜松ボーイスカウト第4団見学案内(30名)
- 26日 知立東高校自然科学部: ガイドツアー(5+2名)
- 28日 北設楽郡教員会理科教育研究部夏季研修会(9名)

7月1日~8月31日「教科書と自然-足元の自然が教えてくれるもの」特別展開催

# 令和 初秋の博物館

博物館を利用してくれた学校、団体のお客さま

- 9月3日 名城大学学芸員研修 (71+1名)
- 5日 黄柳野高校グレートアース鉱物講座 (15+3名)
- 16日 奥三河再発見ツアー (16名)
- 21日 三河きのこ会、きのこ展協力観察会 (12名)
- 22日 赤塚山公園きのこ観察会 (20名)
- 28日 静岡大学地球科学科 (43名)
- 10月3日 豊川市-宮西部小 (80+4名)
- 5日 豊川水系上流域体験ツアー-「作手高原の森林と分水界」
- 7日 新城小学校 6年生 (65+4名)
- 11日 東海シニア自然大学(東海自然学園)ガイドツアー (41名)
- 17日 JA愛知東きよめびと伝承講座  
「中央構造線、日本最長の断層線をめぐる」 (29名)
- 21~22日 黄柳野高校インターンシップ (沢田くん)
- 21日 黄柳野高校グレートアース きのこ講座 (9+3名)
- 24日 あすなろ教室ガイドツアー (7+9+3名)
- 30日 渥美農業高校 (31+4名)

## 野外学習会「桜淵のきのこ」 (令和元年10月13日、はれ、27名)

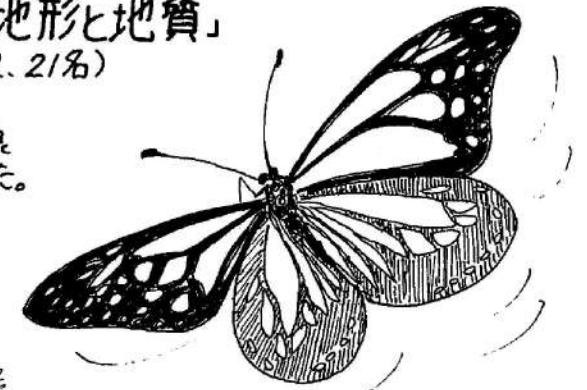
各地に大きな被害をもたらした台風19号が通過した翌日でした。このあたりは雨量も少なく、山の土も乾燥きみで、きのこの発生は少なめでした。

マツレバニタケ  
ヘニタケ科



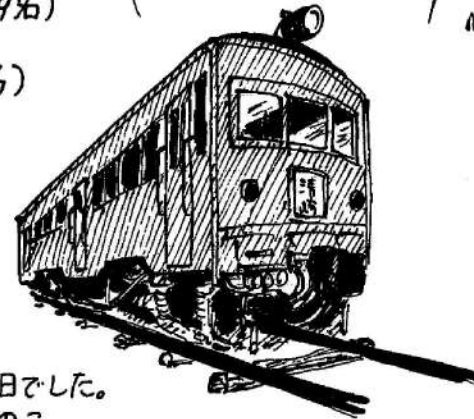
## ジオツアー「田口鉄道敷から見える地形と地質」 (令和元年10月6日、はれ、21名)

長篠から田口まで、田口線の鉄道敷跡をたどりました。安山岩の岩床をくりぬいたトンネルを歩き、保存されている車輛も近で見学できました。



## アサギマダラ飛来 (令和元年10月14日)

今年は来ないのかなと思っていたら、前庭に咲いたフジバカマにやって来ました。長旅のはじまりです。



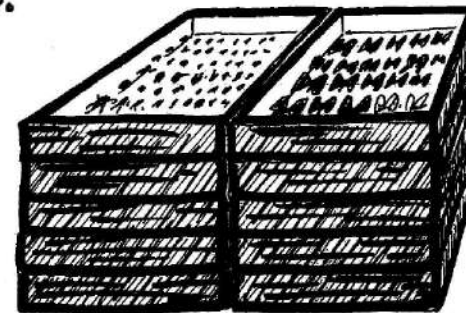
## 大平博士から昆虫標本寄贈 (令和元年9月7日)

大平仁夫先生から三河地方の昆虫標本が寄贈されました。ドイツ型標本箱で10箱です。展示用標本として活用させていただきます。



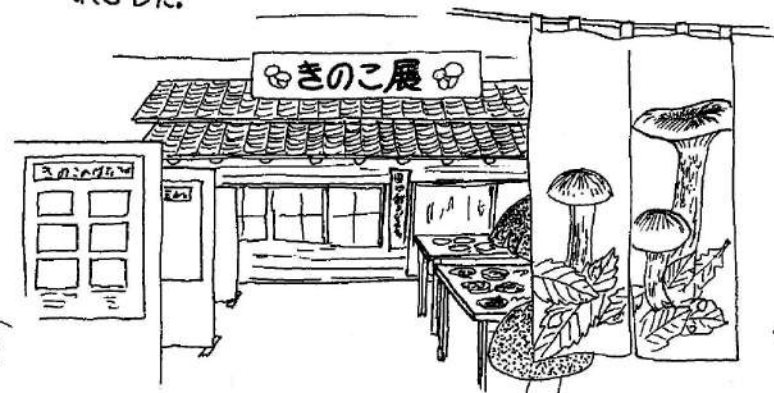
## 洞爺湖へ行ってきました (令和元年9月27~28日)

支笏洞爺国立公園指定70周年シンポジウムがありました。



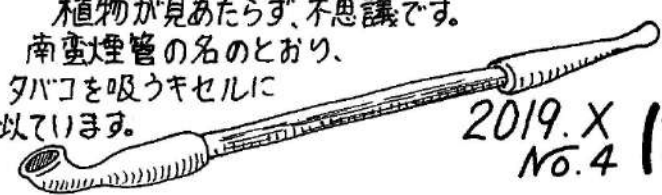
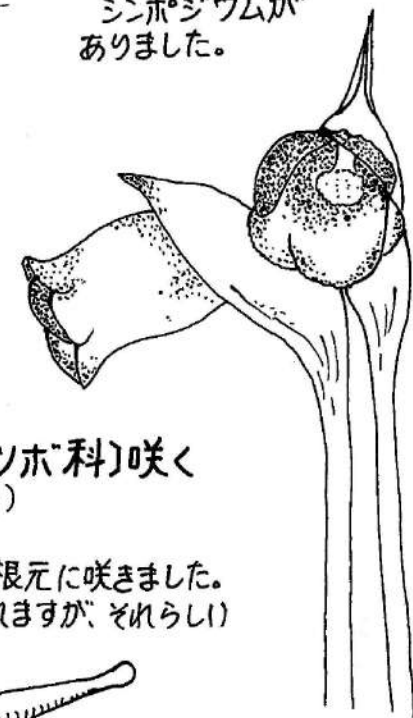
## きのこ展 (令和元年9月15日~10月22日)

雨の少ない夏でした。並ぶきのこも硬質菌が中心でしたが、期間中893人の方が見学に來てくれました。



## ナンバンギセル(ハマウツボ科)咲く (令和元年9月4日)

今年も館の中庭にあるナンテンの根元に咲きました。イネ科の植物の根に寄生するとされますが、それらしい植物が見あらず、不思議です。南蛮煙管の名のとおり、タバコを吸うキセルに似ています。



2019.X No.4 はくぶつかんザッ記



# 令和の冬と博物館

野外学習会「豊川中流域の基盤岩（令和元年12月1日、はれ）



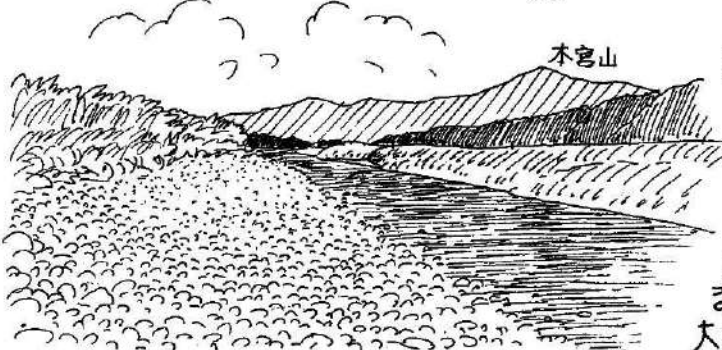
16名の参加がありました。新城市内で見られる、この地方の土台をつくっている岩石の観察地をめぐりました。三波川帯の桜淵、領家帯の猿橋、この2つの変成帯が持つ、中央構造線長篠露頭、領家片麻岩の弁天ダム、設楽層群が露出する花垣鉦山跡を見学しました。

ミュージアムフェスティバル  
(平成元年11月23~24日、はれ)

今年は人気No.1イベントの変動がありました。宝石さがしが鹿角輪投げに1位の座をゆずりました。

そして、新たに松ぼっくり工作が加わりました。松笠を木に見立てて作るクリスマスツリーが好評で、親子で真剣に取り組む姿がたくさんありました。

協力隊員の活躍が光りました。



野外学習会「川原の様子と地形観察」  
(令和元年11月3日、はれ、20名参加)

豊川がつくる地形を観察しました。新城市北西部にあるサイクリングターミナル跡地付近から始まり、下流方向に川路、三上へと見学して行きました。谷が広がり、段丘が発達、川原の石も大きさや形が変化することがよくわかりました。



# 博物館ザッ記 2019-Ⅱ No.5

野外学習会「朝霧湖周辺の紅葉」  
(令和元年11月17日、はれ、32名参加)

大島ダム(朝霧湖)は2001年竣工です。水没前は、ケヤキ群落の紅葉がみごとでした。今は湖に写る紅葉と溶結凝灰岩の大岩壁が目を楽しませてくれます。この日は湖岸道路を歩きながら、沿道の植物観察をしました。



ジオツアー「奥三河の滝」  
(令和元年12月8日、はれ、20名参加)

ふだんはあまり注目されていない滝をめぐりました。長篠城跡にかかる不忍の滝、海老滝上の地名が残る蕨の滝、大野の桐谷の不動滝、湯谷の大滝、柿平の葎ヶ滝、睦平の不田の七滝です。断層、岩脈、攻撃斜面、人工など、様々な成因の滝を楽しみました。

博物館大そうじ  
(令和元年12月22日)

恒例の年末大そうじ大会を行いました。博物館協力隊メンバー24人が出動し、職員と1っしょになって、展示室や館のガラス、屋外につもった落ち葉などを次々にそうじしてくれました。

## おもなできごと、学校の利用、講座など

- 11月1日 ちさと文化講座(于郷中学、20+1名)
- 9日 東三河ジオパーク構想シンポジウム、ミニジオツアー(27+15名)
- 13日 東海自然学園植物クラブ、館内ガイド(7名)
- 16日 長篠開発委員会の自然観察会(60名)、ナイトミュージアム
- 20日 鳳来寺小学校6年生、現地学習(12名)
- 12月4日 黄柳川小学校、化石学習(8名)
- 11日 黄柳野高校グレートアース、オパール観察(14名)
- 14日 ニホンカモシカ出没(博物館周辺)
- 15日 博物館学術委員全体会議





# 春よ来い

## コハズク用巣箱の追跡調査 (令和2年3月1日、はれ、6名)

コハズクの営巣を期待して、鳳来寺山中に巣箱が設置してあります。平成9年からほぼ毎年、調査を続けています。

今年は博物館協力隊(木の葉倶楽部)の丸山、山本、小笠原、城所さんと職員で実施。馬の背方面と行者越~東照宮方面の2班に分かれて、22個の巣箱を調べ、7個を掛けかえてきました。

モモンガ3ヶ所、アカネズミ3ヶ所、ヤマガラ3ヶ所、ムササビ5ヶ所の利用跡が確認できましたが、コハズクが使った痕跡は見つかりませんでした。

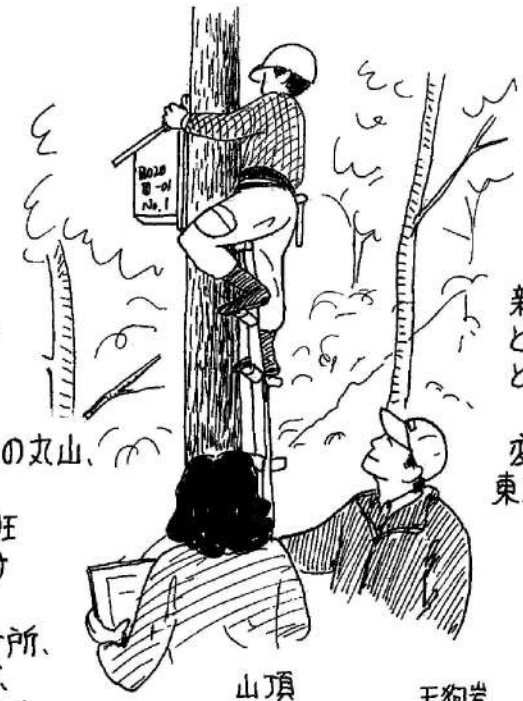
## 巣箱づくり (令和2年2月20、27日)

コハズク用の巣箱を作りました。巣穴の大きさは6cm、材質は杉です。壊れてしまったものと交換します。



## セツブンソウ満開 (令和2年2月2日)

博物館中庭で毎年咲いてくれます。種子がこぼれ、少しづつ増えています。1月8日に一株が咲き、節分に咲きそりました。



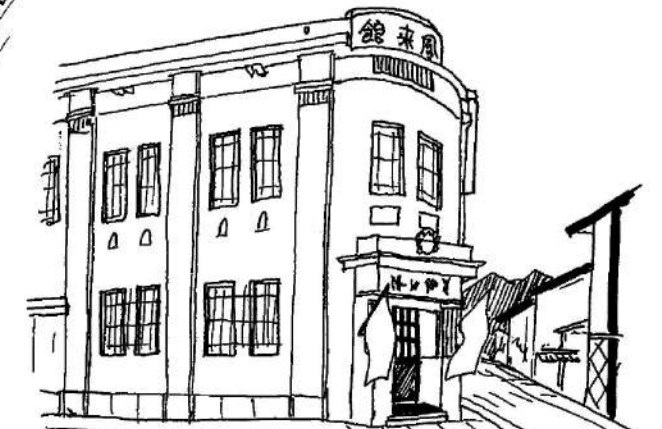
## 東三河ジオパーク構想モニターツアー (令和2年2月8日、はれ、39名参加)

テーマは「中央構造線V Roadをゆく-V字谷を北上するジオの旅-」でした。新城市の中央構造線長篠露頭を皮切りに、睦平の新露頭、八昇峠のV字谷へと進みました。三河湾まで見通せる直線の谷は、今回のツアーのメインの見どころです。昼食は大野にある国の文化財「鳳来館」でランチ。午後は遠州浦川まで足をのびました。中央構造線をはさんで変化する変成岩のようすと、断層地形を観察し、東三河に連なる大地のダイナミックなひとみを体感できました。

## 博物館ザッ記 No.6 2020-III



八昇峠、細川断層



## 幼の冬の自然探検 (令和2年2月16日)

実施を前に友の会役員と下見をしました。1月11日です。于寿が峯の近くにあることを、丸山会長が事前に調べてくれていました。下見ではコースの安全とルート確認をしました。探検地は、かつてマンガン鉱を採掘していた跡です。倒木を乗り越え、道のない急斜面を登った尾根近くにありました。真っ黒になった鉱石のズリの上に杭口か口を開けていました。楽しみにしていた実施当日、季節はずれの雨で、やむなく中止となりました。再挑戦したい探検です。

## 野外学習会「野鳥と虫の冬越し」 (令和2年1月19日、はれ、33名参加)

今年も桜淵公園で実施しました。オオバン、ヒドリガモ、ツグミなどの野鳥3/種。ムラサキシジミの成虫や卵、ゴマダラチョウの越冬幼虫などを観察しました。また、冬を生きのびているムシバミコガネグモの姿を見つけることもできました。暖かい冬のせいでしょうか。



## 1月から3月の学校、団体などの利用

- 1月22日 東海自然学園講話(55名)
- 27日 鳳来寺小学校 出前教室(9名)
- 2月1日 春日井市環境まちづくりパートナーシップ(40名)
- 14日 作手小学校 6年生、オパールさがし(20+3名)
- 15日 豊川流域圏上下流体感ツアー報告会(22名)
- 27日 庭野小学校 5-6年生、地層と化石学習(9+2名)

# 春が来た



## 山笑

## 生きもの

## 躍動

## 博物館ザッ記 No.7



ヤマザクラ  
(令和2年4月5日)

市内各地で満開。新城市の木です。強い樹で植林された山の中でも生きのびています。



カラスノエンドウ(令和2年4月7日)

ピッフィーの独特の鳴き声で気づきました。

さやに5~10個の種子をつくります。



ムラサキケマン  
(令和2年4月2日)

ウスバシロチョウの食草です。今年はまだチョウが舞っていません。



キツネノボたん  
(令和2年4月12日)

門谷のいたるところで黄色の花を咲かせています。有毒です。

シメガ  
(令和2年4月2日)

アヤメ科で、きれいな花を咲かせます。鳳来寺の参道を彩ってくれます。



ハヤブサ  
(令和2年4月9日)

門谷の仙干代丸の祠の近くに現れました。山麓の地方付近で出会ったのは初めてです。



ツバメ  
(令和2年3月23日)

只持に2羽がやってきました。長旅お疲れさまでした。

カナハビ(令和2年4月12日)

博物館の石垣に顔を出しました。



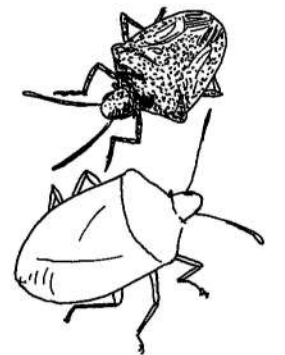
イハモミジ  
(令和2年4月11日)

この時期に赤いかわいらしい花をつけます。気づく人は少ないようです。



カメムシ(令和2年4月2日)

館内のあちらこちらで越冬していた虫たちが眠りからさめて、ホタホタと落ちてきます。窓わくは要注意。



ヤマブキ  
(令和2年4月10日)

山吹色のヤマブキです。濃いあざやかな黄色、黄金色が目にとびこんできます。



新型コロナウイルス対応で臨時休館  
(令和2年4月13日~5月10日まで)

ご不便をおかけします。



旧門谷小学校(令和2年4月1日)

NHK朝のテレビ小説のロケで使われました。また、自転車で思い出の地を訪れる「にっぽん縦断こころ旅」にも登場し、門谷が注目の的になっています。シタレサクラ、ヤマザクラ、ソメイヨシノの桜に囲まれ、秋はイチョウの黄葉が美しいです。



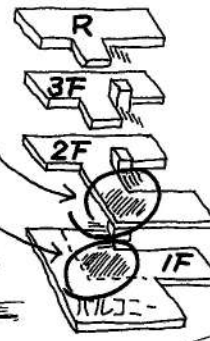


# 鳳来寺山自然科学博物館 展示 あんない

桐山産オパール、田産バラ輝石をさりげなく展示。

全国の博物館から送られてくる「たより」などを収納。中身はおもしろい。

## 仏法僧コーナー



この奥は特別展示室。期間限定の企画展を開催する。

コハズグの鳴く様子を動画で見られる。職員がホームビデオで撮影。

一筆せん、ストーンポイント、缶バッジなど、オリジナルグッズの販売。

ミュージアムグッズ販売コーナー

テレビ

県民の森からいただいた杉の輪切

杉丸太のイス

のぞき見防止用のれん。サクラシメジのバージョンもある。

岩石・鉱物・書籍類販売コーナー

事務室入口

事務室

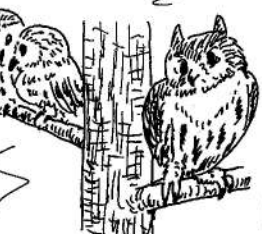
気軽に声をかけてください♡

カウンター

日本のフクロウ類の展示

＜問2. コハズグの大きさは？＞

海でできたプレート（海洋プレート）の上に堆積した土砂が、大陸のプレートにぶつかり、その下にもぐりこむ際、大陸の縁にへばりついたもの（付加帯）が、この地方の大地のもとになった。その後日本海が広がり大陸から離れ、日本列島の原形ができ、海の時代、火山の時代を経て、今の姿になった... というようなことが解説してある。



コハズグの卵。ピンポン玉くらいの大きさ。

声と姿のフクロウソウ

＜問1. フクロウソウは何で鳴く？＞

昭和10年の鳳来寺山での仏法僧鳴き声実況放送成功の記録がまとめている。

鳳来寺山の仏法僧に関する文献を紹介。昭和12年の教科書に載った、実物が展示してある。

中央構造線が通る新城市の地質のあらましがわかる。

中央構造線向林露頭のレプリカ

東三河の大地のなりたち

トートバック、エコバック販売

くろぎコーナー 特製スキのイスに注目。

イトドリ

超軽量、天然素材、自然還元型

＜問3. イトドリは木？草？竹？＞

領家帯

三波川帯

河原の石に混じるにせもの石を見分けろ

教材用岩石標本 20種を販売

＜問4. 新城市に産しない岩石は？＞

流紋岩、松脂岩、凝灰岩の壁。昭和38年の開館当時のまま残してある。すべて鳳来寺山産の岩石を使用。

有海産化石。バイパス道路の工事で現れた化石床。ハマグリやカガミガイの化石がびっしり。

トイレは1階のみ。車イスごと入れるトイレもある。女性用には和式も用意。

昔なつかしい使いどころがたんのうできる。ご利用ください(女専用)。

車イス2台とエレベーター完備で、3階まで行けます。たっちゃん人は階段を使おう。

＜問5. 化石になった貝たちが生きていたのはどれくらい昔？＞



暖帯系と温帯系の植物  
が入りまじり、種類が豊富。  
降雨量2300mm/年ほど。

問1. この中に日本の  
国鳥がいる。  
どの鳥?

この地方で見られ  
る野鳥36種。

鳳来寺山付近  
の植物の成り立ち

鳳来寺山  
の植物

一步外に出れば  
地層の露頭がある

四季折々の<sup>サツマ</sup>腊葉  
標本(おし葉)展示

中央構造線がつくる地  
形を上空から確認できる

窓越しに地層  
が観察できる

火山が噴火していた頃の  
奥三河(模式図)

この地方が海だった頃の  
ようすと化石

問3. 愛知県で日本の地質百選  
に選ばれた場所はどこ?



両生・川虫類

クモ・陸貝

ネジギギギギ

鳳来寺山付近の  
川の自然

旧東陽中学校  
の生徒が作  
った立体  
地形図

鳳来寺山付近の昆虫

松脂岩、流紋岩  
など、鳳来寺山を形成  
する岩石。

石のふるさと

設楽火山の活動  
鳳来寺山・岩脈群

足あと化石(硬石採石場で発見)

昭和38年  
の開館当  
時のイヌ。  
館内に  
8脚ある。

モリアオガエル産卵池

モリアオガエル  
新城市のカエルに制定。  
おそらく国内で市のカエルを定めて  
いるところはないのではなからうか。

5月中旬から6月にかけて池などの水  
の上にかかる枝先などにアワ状の卵塊  
をつくる。1週間ほどでオタマシマツとなり、  
池での生活をする。40日で足が生える。

ハビ類8種  
カエル類7種  
トカゲ類2種  
ヤモリ、アカハラ  
イモリのフリーズ  
ドライ標本。

クモ類  
の展足標本  
は他館では  
まず展示して  
いない。

産卵するモリア  
オガエルは  
3う糸工の  
レ7リカ。

問5. 伊勢湾と三河湾  
に流れる川にだけ  
生息する天然記  
念物の魚は?

大型ホ  
乳類の  
ジオラマ  
展示。最近  
確認され  
たツキノワグマ  
の標本はない。  
入手できるとここに入る  
余地はない。

巨大な葉がある

エレベーター  
2階出口

エレベーター  
(3人乗り)  
200kgまで  
2人しか乗れな  
いことがある。

セツアンソウ畑  
平成14と17年に池場でいた  
だいた種子を播き、梅の木を  
植えて環境を整えてきた。  
今では、毎年厳寒の節分の頃  
にみごとなお花畑になる。

学芸員コーナー  
毎週展示  
更新される  
予定。

2階  
生態展示室

R  
3F  
2F  
1F  
バールコート

2階  
生態展示室



# 鳳来寺山自然 展示 あんない

## 科学博物館 ザッ記のみどころ

蕨の標本がある。展示例が少ないので、今後も品ぞろえに努力する。

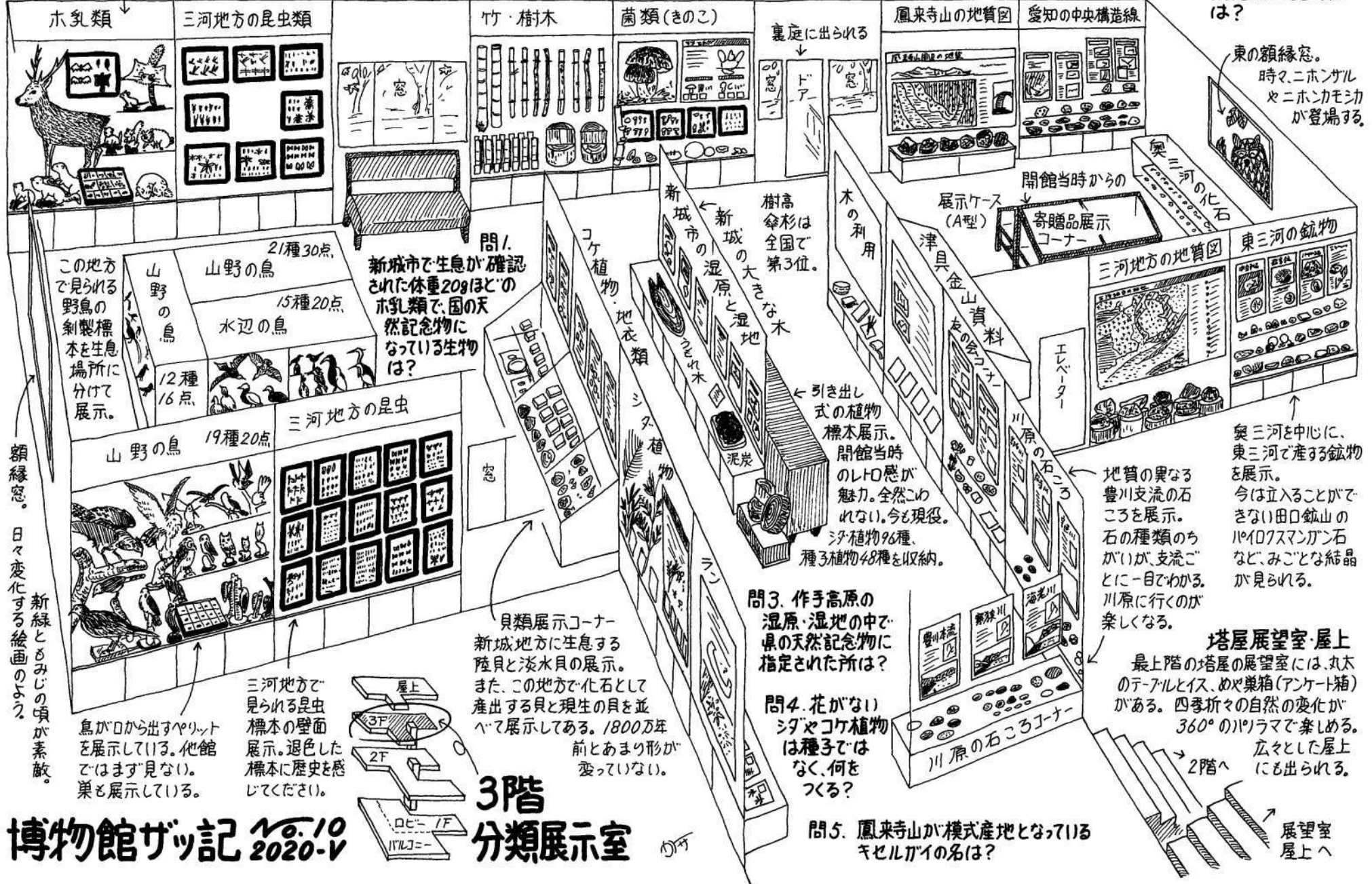
2階の生態展示室には竹類や樹木の展示。  
植物でも動物でもない生物。秋には講堂でこの展を開催。

春はスミレ、秋は紅葉のシュートンになる。

鳳来寺山の詳細な地質図。地質断面もある。盆状構造がよくわかる。

愛知県内の中央構造線の露頭と地形が見られる場所を紹介。すべて新城市内だ。

問2. 新城市の天然記念物に指定された中央構造線の露頭名は？



額縁窓。日々変化する絵画のよう。新緑ともみじの頃が素敵。

この地方で見られる野鳥の刺製標本を生息場所に分けて展示。

山野の鳥 21種30点  
山野の鳥 15種20点  
水辺の鳥 12種16点

問1. 新城市で生息が確認された体重20gほどのホ乳類で、国の天然記念物になっている生物は？

山野の鳥 19種20点

三河地方の昆虫

鳥が口から出すペリットを展示している。他館ではまず見ない。巣も展示している。

三河地方で見られる昆虫標本の壁面展示。退色した標本に歴史を感じてください。

貝類展示コーナー  
新城地方に生息する陸貝と淡水貝の展示。また、この地方で化石として産出する貝と現生の貝を並べて展示してある。1800万年前とあまり形が変っていない。

3階 分類展示室

新城の大きな木  
樹高傘形は全国で第3位。  
引き出し式の植物標本展示。開館当時のレトロ感が魅力。全然かわれない。今も現役。シダ植物96種、種子植物48種を収納。

問3. 作手高原の湿原・湿地の中で、県の天然記念物に指定された所は？

問4. 花がないシダやコケ植物は種子ではなく、何をくする？

問5. 鳳来寺山が模式産地となっているキセルガイの名は？

東の額縁窓。時々ニホンサルやニホンカモシカが登場する。

東三河を中心に、東三河で産する鉱物を展示。今は立入ることができない田口鉱山のハイドクスマンガン石など、みごとに結晶が見られる。

地質の異なる豊川支流の石ころを展示。石の種類のうち、川原に行くのが楽しくなる。

塔屋展望室・屋上  
最上階の塔屋の展望室には、丸太のテーブルとイス、めがね箱(アンケート箱)がある。四季折々の自然の変化が360°のパノラマで楽しめる。広々とした屋上にも出られる。